



収益源の多様化に努め、 今後も安定した運用を投資家の皆様に

ポイント



1. コロナ・ショックに直面した2020年と、足元までの振り返り
2. ファンドの3つの主な収益源（利回りだけではありません）
3. 収益源の多様化に努め、今後も安定した運用を投資家の皆様に

1. コロナ・ショックに直面した2020年と、足元までの振り返り

ファンドは相対的に小さな値動きに終始

新型コロナウイルス（以下、コロナ）の世界的な感染拡大を背景に、2020年の金融市場は大きく上下する展開となりました。特に3月は、株式やREITだけでなく、安全資産と言われる米国債や金までもが投げ売られ、市場の混乱が一際大きくなった月でした。ただし、各国政府・中央銀行の迅速な対応もあり、金融市場はその後反発基調に転じ、世界の株式と債券の年間騰落率はプラスとなりました。

こうした中、「野村ワールドボンド・ファンド」（以下、当ファンド）は相対的に小さな値動きに終始したことがご確認頂けます。前述3月の投げ売り局面においては当ファンドも下落を強いられましたが、その後は緩やかな回復基調に転じ、2020年の年間騰落率（分配金再投資ベース）は+1.7%となりました。

なお、コロナ終息への期待などを背景とした金利上昇を受け、2021年に入ってから年初来騰落率（同上）は-1.0%となっています（2021年2月22日現在）。

2020年の基準価額（分配金再投資）推移



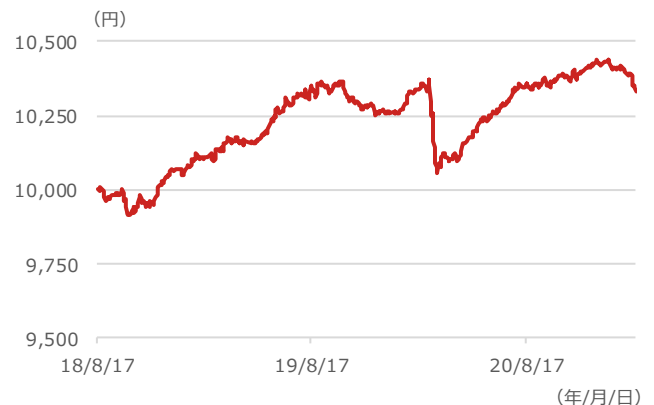
期間：2019年12月30日～2020年12月30日、日次

（注1）期首を100として指数化。当ファンドの基準価額（分配金再投資）については4ページをご参照ください。各指数は、ファンドの市場反映タイミングにあわせて算出しています。

（注2）各指数については4ページをご参照ください。いずれも円換算ベースです。

（出所）ブルームバーグなどのデータを基に野村アセットマネジメント作成

設定来の基準価額（分配金再投資）推移



期間：2018年8月17日（設定日）～2021年2月22日、日次

（注）当ファンドの基準価額（分配金再投資）については4ページをご参照ください。

（出所）野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. ファンドの3つの主な収益源（利回りだけではありません）

金融緩和がもたらした債券利回りの低下

コロナによる実体経済の悪化を最小限に食い止めるべく、日本だけでなく主要国・地域の中央銀行は、現在一様に大規模な金融緩和策を実施しています。この世界的な金融緩和は、債券市場に債券利回りの一段の低下をもたらす形となりました。当ファンドは先進国の国債等を実質的な主要投資対象としていることから、ファンドの平均最終利回り（為替ヘッジ後）も2021年1月末現在0.3%と、決して高くない水準となっています。

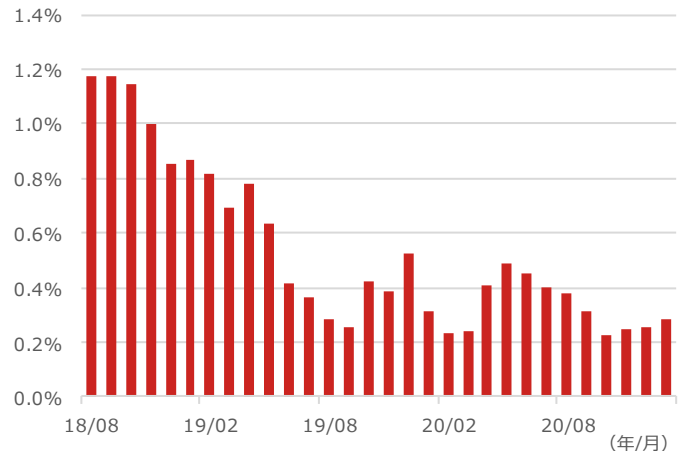
足元の当ファンドの低い利回り水準に鑑み、ファンドの収益力の低下を懸念される投資家様もいらっしゃるかもしれません。確かに、『利回り』は当ファンドにとって重要な収益源の一つですが、必ずしもそれだけが収益源ではないことを、以下で改めてご説明したいと思います。

安定的なリターンを生み出す3つの収益源

当ファンドの2019年末時点の平均最終利回り（為替ヘッジ後）は0.5%でした。極端な例になりますが、当ファンドの収益源が『利回り』のみだった場合、昨年一年間のリターンが0.5%を上回るのは難しくなるはずですが、しかしながら実際は、前頁の通り+1.7%でした。これはつまり、当ファンドの収益源は『利回り』のみでないことを意味しており、具体的には『利回り』に加え、『金利リスクの調整』や『為替変動』などを、安定的なリターンの獲得のために活用しています。

次頁では、『利回り』以外の2つの主な収益源について、もう少し掘り下げ、今後の注目点も含めご説明します。

ファンドの平均最終利回り（為替ヘッジ後）の推移

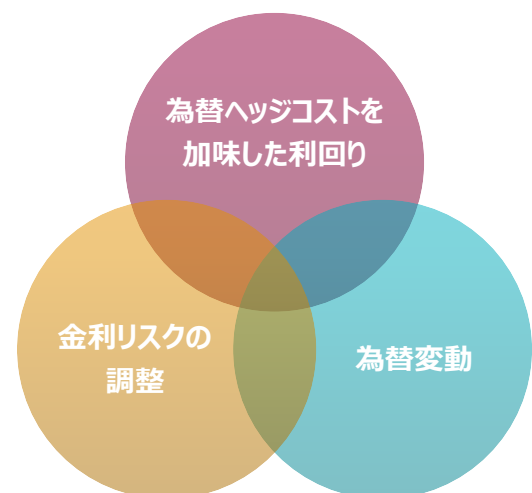


期間：2018年8月末～2021年1月末、月次

（注）上記の平均最終利回り（為替ヘッジ後）は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）をその組入比率で加重平均したものであり、為替ヘッジプレミアム/コストを反映し、表示しています。

（出所）野村アセットマネジメント作成

ファンドの3つの主な収益源（イメージ）



（作成）野村アセットマネジメント

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

3. 収益源の多様化に努め、今後も安定した運用を投資家の皆様に

『金利リスクの調整』とは？

2021年1月末現在、当ファンドの平均デュレーションは4.8年と、一般的な世界国債の指数※（8.2年）よりも短くなっています。金利上昇は債券投資において獲得できる金利収入の水準が高くなるという観点でプラスに働きますが、一方で債券価格の下落という観点でマイナスに働きます。当ファンドでは、金利動向を踏まえて、『金利リスクの調整』を柔軟に行なうことで安定的なリターンの獲得を目指しています。

※世界国債指数については、4ページをご参照ください。

『為替変動』とは？

また、当ファンドでは為替ヘッジ比率を高位に保つ一方、限定的に『為替変動』を利用することで、収益機会の多様化を図っています。金利上昇は当該国の債券にとって価格下落要因となりますが、通貨にとっては通貨高要因となる傾向があります。そのため、当ファンドでは為替変動による値動きの影響を抑えるために原則として為替ヘッジ比率を高位（実質外貨比率を低位）に保ちますが、ある国の通貨に対して円安が想定される場合は為替ヘッジ比率を下げ、為替差益の獲得を目指します。

今後の金利上昇が意識される中で

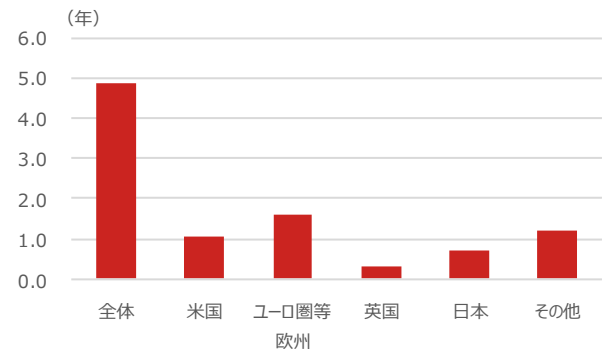
足元、米10年国債利回りが上昇基調にあります。米金融当局は金融緩和の当面の継続を表明しています。今後の金利動向を見通すことは困難ですが、当ファンドでは収益源の分散と多様化に努めることで、大きなリスクを取らずに資産形成したいと考える投資家の皆様に寄り添うことができるよう、今後も安定した運用を目指してまいります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができません。
 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みの際のご注意事項】を必ずご覧ください。

金利リスク の調整

ファンドの 地域別デュレーション（金利リスク）



2021年1月末現在

(注1) 上グラフは、野村ワールドボンド・ファンドが投資対象とする「グローバル債券マザーファンド」の地域別デュレーションを示しています。

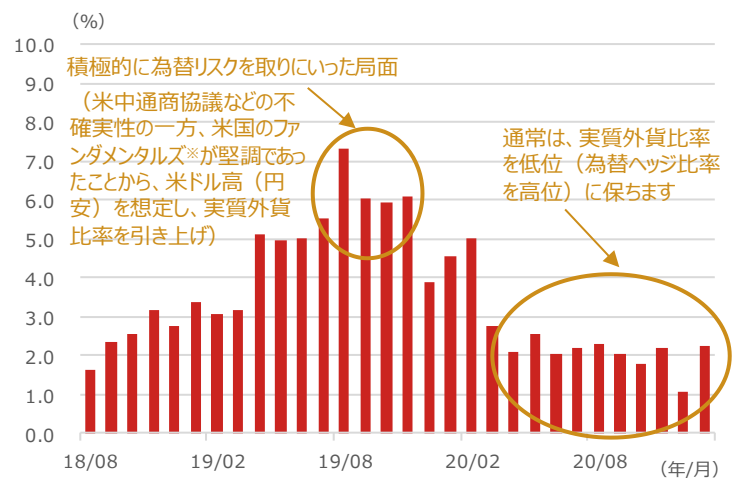
(注2) デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

(注3) 各地域のデュレーションは、合計値が全体の数値になるように、それぞれの配分比率を勘案し算出しています。

(出所) 野村アセットマネジメント作成

為替変動

ファンドの 実質外貨比率（純資産比）の推移



期間：2018年8月末～2021年1月末、月次

※ファンダメンタルズ：経済の基礎的条件を意味します。

(注1) 実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

(注2) 純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

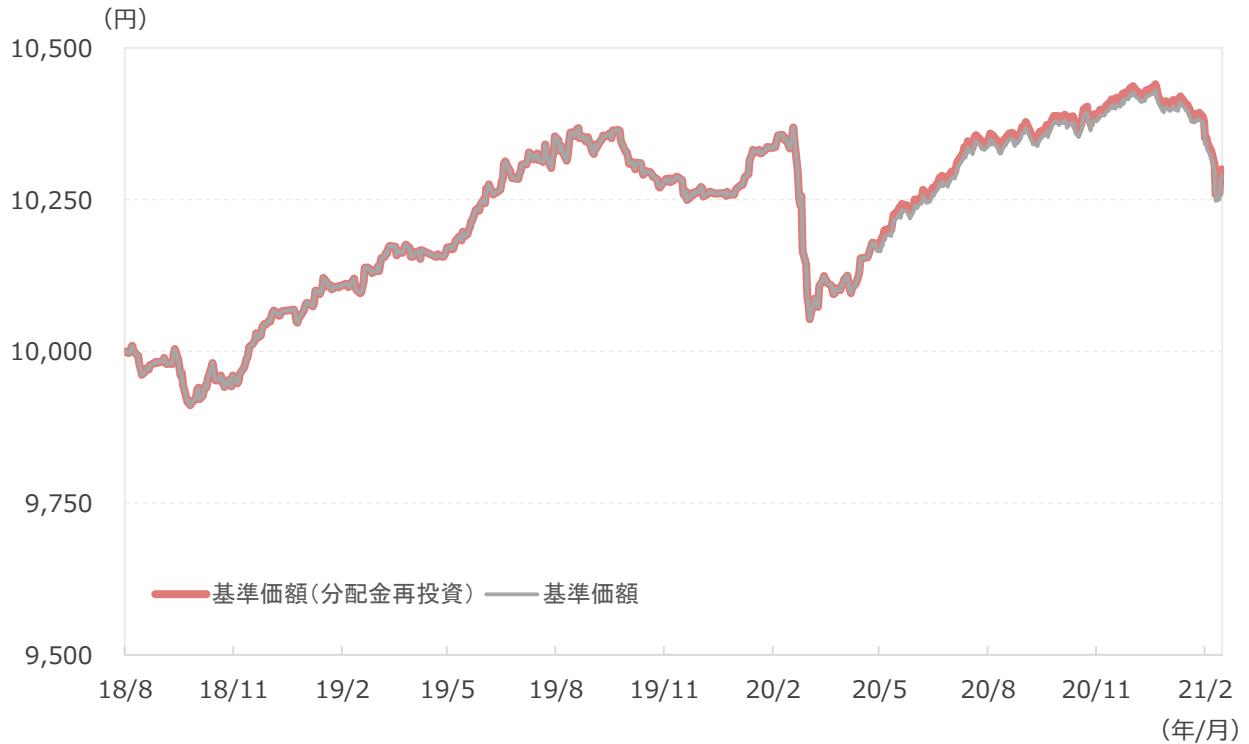
(出所) 野村アセットマネジメント作成

「野村ワールドボンド・ファンド」

ファンドの運用状況

ファンドの基準価額の推移

期間：2018年8月17日（設定日）～2021年3月3日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

<当資料で使用した指数について>

- 世界株指数：MSCI All Country World指数（配当込み、円換算ベース）
- 世界債券指数：Bloomberg Barclays Global Aggregate指数（トータルリターン、円換算ベース）
- 先進国REIT指数：S&P Developed REIT指数（配当込み、円換算ベース）
- 世界国債指数：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- MSCI All Country World指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- S&P Developed REIT指数は、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャルサービシーズエルエルシーの所有する登録商標です。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

「野村ワールドボンド・ファンド」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 世界各国の公社債を実質的な主要投資対象^{*}とします。
 - ※「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル債券マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 投資する公社債は、投資時点においてBBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）を有する公社債とし、日本を含む先進国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）を中心に投資します。
- 市場環境、利回り水準、為替ヘッジコスト等を勘案して国別配分、通貨配分、デュレーションの水準を決定し、ポートフォリオを構築します。なお、ポートフォリオのデュレーションは、原則として0～8年の範囲内で調整します。
- 効率的な運用を行なうため、債券先物取引等のデリバティブ取引を利用する場合があります。
- 実質組入外貨建資産については、円建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行なった資産の額との合計額（実質的な円建資産の額）を、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。
- ファンドは「グローバル債券マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年5月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

^{*}委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「野村ワールドボンド・ファンド」

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年5月15日まで(2018年8月17日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、5月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング スイッチングのお取り扱いのある販売会社では、「ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド」の換金代金をもって当ファンドへのスイッチングが可能です。スイッチングの方法等は、ご購入、ご換金の場合と同様です。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨークの銀行」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年3月現在)

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.023%(税抜年0.93%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村ワールドボンド・ファンド

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。